

デンバー美術館にて日本美術企画展を開催中 新館「ハミルトン・ビルディング」も完成し常設展示が充実

コロラド州の州都、デンバーにあるデンバー美術館において本年 7 月 8 日まで、企画展「キミコ&ジョン・パワーズ・コレクション」が開催されています。オーナーであるキミコ・パワーズはアンディ・ウォーホルの作品のモデルにもなったことのある女性で、コレクションは屏風や掛け軸といった江戸時代の日本古美術を中心としたものですが、縄文・弥生時代の優品も含まれています（ジョン氏は 1999 年逝去）。

デンバー美術館では 1971 年に建設された本館（ノース・ビルディング）に加え昨年 10 月、新館の「ハミルトン・ビルディング」をオープンしました。この新館はニューヨークのワールド・トレード・センター・ビル跡地再開発計画の総指揮者にも任命されている著名な建築家ダニエル・リーベスキンドの手によるもので、彼の作品としては米国初のものとなります。外壁の素材には 9 千枚のチタン製のパネルを使い、建物全体はロッキー山脈の連なる峰の姿と同時に、デンバーで採掘されたクリスタルの形状をも思い起こさせるような尖った先端をいくつも持つ不思議な外観となっています。周辺にはマイケル・グレースによる図書館やイタリア・ミラノの建築家ジオ・ポンティによる美術館本館と個性的なデザインの建築が建ち並んでいます。

この別館の追加により同美術館の展示スペースが倍増し、常設コレクションの中でも一番人気の米国一の規模と言われるカナダ及びアメリカン・インディアンの残した 1 万 8 千点ものコレクションの展示が可能となりました。その他、アフリカン・アート、中国、インド、チベット、ネパール等のアジアン・アート、ヨーロッパ&アメリカ美術、南太平洋、ポリネシア等のオセアニア・アート、南米、マヤ及びペルー文化のプレ・コロンビアン・アート、衣装やキルトなどのテキスタイル・アート、西部開拓の歴史を語るアメリカン・ウェスタン・アートなど世界各地のアートを展示、また現代的なモダン&コンテンポラリー・アート、建築・デザイン&グラフィックの展示エリアも充実しています。

☞ コロラド州について

コロラド州は米国の中でもアメリカ開拓の歴史を色濃く残す州です。年間晴天率 300 日を誇り、3 千メートル級の山々が連なるロッキー山脈国立公園をはじめとする 4 つの国立公園を擁しており、恵まれた自然の中、冬はスキー、夏はリゾートと米国内外から観光客で賑わっています。又コロラドはトレッキングやハイキングなどアウトドアやスポーツ愛好家にファンが多く、人と自然の距離を縮める、不思議な力のあるデスティネーションです。

～ 当リリースに関するお問い合わせ先 ～

コロラド州観光局 日本事務所（アピアレップス・マーケティング・ガーデン株式会社内）

担当: 米田、桑原 TEL: 03-3225-0008 / FAX: 03-5363-1118